

## 地域と学校・家庭の関わりで育つ子ども達

昨日、太宰府西中学校において、自治会長との懇談会が行われました。この会は、自治会長、PTA地域委員、中学校の3者が集まり、各地域について協議をするものです。

はじめの全体会では、PTA会長より、「通学路の安全が一番です」というお話がありました。毎日、通る道ですので安全・安心であることが何よりであると、改めて思いました。

次に私から、「地域・家庭・学校で子どもを育てていきましょう」という話をしました。子ども達は、地域、家庭、学校とそれぞれで見せる顔は当然違います。どれも素顔だと思います。それぞれの場で、それぞれの人に対して、自分らしさを発揮しています。特に地域では、夏祭りや餅つきなどにおいて、学校とは違う活躍の場があり、かつて子ども達は生き生きと活動していました。コロナ禍で地域行事が中止となり、子ども達の活動の場は減っていた現状があります。

昨日の懇談会では、いくつかの地域で、夏祭りを実施する方向で進んでいる、という話が聞かれました。詳細は未定のようなのですが、感染状況を見ながら、できることをしていこうという流れになったようです。

これは学校としても、とても嬉しいことです。以前のように、学校以外でも子ども達の頑張りが見られるかと思うとワクワクしてきます。

この夏、たとえ規模縮小であっても、地域の夏祭りが実施され、地域に笑顔や歓声が戻ることを期待します。

### ☆ 各地域に分かれて協議をしています

